

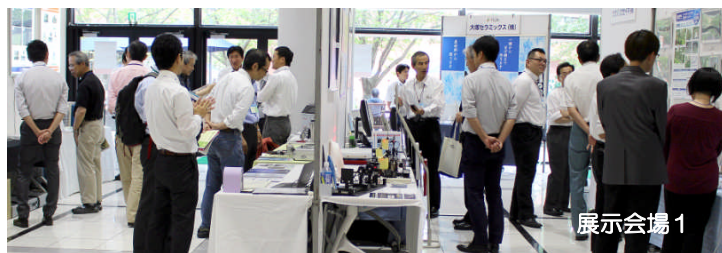
産総研で研究開発支援型企业展示会

2018.6.14

恒例となった、(国研)産業技術総合研究所(産総研)における本年度の、茨城県研究開発支援型企业による技術展示会が開催されました。開催日の6月14日は梅雨の晴れ間ものぞき、開会の11時30分から閉会の14時30分の3時間で210名のご来場を数え、産総研の研究者/技術者の高い関心の度合いを肌で感じました。

出展企業は28社と例年通りの盛況で、各社は10時から予め準備されたブースに自社展示製品やPR資料を持ち込み、特に、12時からの昼休みには来場者のピークを迎えました。各ブースでは各企業が卓越した技術力とその成果であるサンプルを示し、来場者への説明と共に助言を得るなど、活発な意見交換が垣間見られました。今回の熱気溢れる意見交換が、今後ビジネスへの展開に繋がることが望めます。

本展示会は茨城県といばらき成長産業振興協議会が主催し、産総研のご協力と、(一社)茨城研究開発型企业交流協会(IRDA)の協賛を得て開催されました。なお、当県内中性子利用連絡協議会は、県内の各企業支援機関と共に共催として参画しました。



展示会場1



展示会場2

原子力施設廃止措置講演会 JMTR見学会開催 2018.6.27

6月27日13時10分から(国研)日本原子力研究開発機構大洗研究所で、原子力施設の廃止措置関連講演会と同所に設置されている材料試験炉(JMTR)の見学会が開催されました。これは、いばらき成長産業振興協議会が主催し県内中性子利用連絡協議会が共催したもので、事務局を含め参加者は、先方受入れ限度の35名の多数に達しました。全員が厳重な入門手続きを済ませた後、同研究所の構内バスでJMTR建屋の会議室に案内されました。

講演は、最初に(一財)エネルギー総合工学研究所の林道寛氏から「世界の原子力施設の廃止措置の現状」と題して、特に同氏が視察された欧州での現状を中心に解説されました。その中で廃止措置に至る安全と、それを踏まえた種々のサイトの具体論が示されました。纏めに「印象に残ったこと」として、廃止措置は終わりではないこと、蓄積した技術・ノウハウをビジネスとして展開できることなどを参加者に熱く語られました。続く講演では、大洗研究所の土谷邦彦氏から「JMTRの廃止措置計画について」のタイトルの許、H31年2月取得予定の廃止措置計画認可に向けた同所の綿密な取組計画が開示されました。その中でも「安全」には特段の力点が置かれ、今後約10年間に亘る解体撤去の準備である第一段階を推進する工程が説明されました。付随する放射化汚染や被爆評価、廃棄物管理など山積する課題がリアルに実感できた機会でもあり、同時に種々実務ノウハウを有する地元企業への協力要請が出されました。

講演会後、3班に分かれJMTR技術者引率の許、すでに廃止に向け休止中のJMTRの実機を高所ハッチから見学しました。冷却水が抜かれた炉心の空洞と接続する清浄な碧色の冷却水をたたえたカナルとの対比が印象的でした。

今回の講演会兼見学会を契機に、地元企業がJMTR廃止措置に参画できる切り口となることを期待しつつ17時に現地散会しました。



講演会場



現場説明

会員(法人)異動のお知らせ

(H30年7月1日現在/敬称略)

◆ 新規入会

(合計会員企業数：225社)

・株式会社 イガデン

五十嵐 覚 (技術営業課)

〒300-2721 常総市篠山78-4

電話：0297-42-6372 FAX：0297-42-8335

・有限会社 ハイパー・ハウス

沼田 正美 (代表取締役)

〒302-0034 取手市戸頭211-1

電話：0297-84-6251 FAX：0297-84-6261

◆ 会員情報の変更

(特記なき情報は変更ありません)

【担当者変更】

・インターソシオシステム 株式会社

(変更後)小野瀬 直人 (代表取締役)

・アルミ表面技術研究所

(変更後)廣原 毅

・株式会社 東和電子

(変更後)永井 弘幸 (営業)

【住所変更】

・株式会社 稲村技研

(変更後) 〒316-0013 日立市千石町 2-14-13

・株式会社 インフォグラフィックジャパン

(変更後) 〒316-0032 日立市西成沢町 2-20-1